

第2回 ITER機構職員募集説明会（大阪）でのQ&A

1. 日時・場所

平成20年7月4日（金）18:30~19:30
大阪科学技術センター 会議室 602号室
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

2. 参加者：17名

3. 説明内容

- 1). ITER計画について 芳野隆治（ITERプロジェクトユニット・ユニット長）
- 2) ITER機構職員公募の面接試験について 安東俊郎（ITER協力調整グループ・サブリーダー）

4. 説明会でのQ&A

Q1) 長期派遣はどのような身分か？

A1) ITER機構の職員ではない。派遣元の所属です。

Q2) P3はどういう意味か？

A2) ITER機構のHPに説明されていないが、職位を意味している。IAEAなどの国際機関に準じており、P1→P5になる程、職位が高くなります。

Q3) 仏語は必要か？

A3) 職種により必要なものもあるが、基本的には英語のみです。

Q4) 任期は5年で固定か？

A4) 3年の場合もあるし、延長も可である。なお、5年ごとに契約更新を行うと聞いています。

Q5) 任地は？

A5) 現在は、すべてカダラッシュ。将来的にはフィールドチームが各極に滞在することも考えられます。

Q6) 大学院は、経験に含まれるか？

A6) 研究の経験も含まれると解釈しています。

Q7) モナコのポストクは？

A7) ITER機構が、直接、募集手続きをしている。JAEAには今年度分の情報は入っていません。
(なお、本説明会の次週に、ITER機構が面接試験の手続きを進めていることが分かった)

Q8) ITER機構での職務の後の就業については、どこがサポートしてくれるのか？

コメント又は要求として、ぜひキャリアパスとして整備していただきたい。

A8) この問題については課題と認識していますが、対応については、整理されていません。